

実行団体が採択された後に助成システムに契約時
までに作成いただく事業計画画面のイメージです。
公募時、内定後の伴走支援時などにご活用ください。

休眠預金活用事業 助成システム_事業計画画面項目イメージ（実行団体）

基本情報

事業名		バージョン	
実行団体			
事業の種類			

事業名	
資金分配団体	

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野

その他優先的に解決すべき社会の諸課題

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的
(2)団体の概要・活動・業務

II.事業概要

実施時期	20YY年MM月～20YY年MM月	直接的対象グループ		間接的対象グループ	
対象地域		人数		人数	
事業の概要					

III.事業の背景・課題

(1)社会課題
(2)課題に対する行政等による既存の取組み状況
(3)休眠預金等交付金に係わる資金の活用により本事業を実施する意義

IV.事業設計

中長期アウトカム
▼▼▼（対象地域）において、□□（対象グループ等）が★★★された地域・社会になる。

短期アウトカム	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
▼▼▼（対象地域）において、○○（資金的アウトプット）により、□□（対象グループ）が◎◎◎（短期アウトカム）された状態になる。				
短期アウトカムは10個まで設定できます。				

アウトプット	指標	初期値/初期状態	目標値/目標状態	目標達成時期
アウトプットNo.1				
アウトプットNo.2				
アウトプットNo.3	アウトプットは25個まで設定できます。			
アウトプットNo.4				
アウトプットNo.5				

アウトプット[No.1]に対する活動

アウトプットに対する活動はアウトプットの数に応じて作成ください。

活動内容	活動時期
各アウトプットに紐づく活動内容は10個まで設定できます。	

アウトプット[No.2]に対する活動

活動内容	活動時期

アウトプット[No.3]に対する活動

活動内容	活動時期

アウトプット[No.4]に対する活動

活動内容	活動時期

アウトプット[No.5]に対する活動

活動内容	活動時期

V.インプット

人材	内部：合計○人（担当者○人、◆◆○人） 外部：合計○人（◆◆専門家○人）	資機材	
----	---	-----	--

VI.持続可能性

持続可能性1	最初の資金提供契約時は新たに入力する必要はありません。(本項目は契約時には含みません)
持続可能性2	

VII.広報戦略および連携・対話戦略

広報戦略	
連携・対話戦略	

VIII.その他補足事項

タイトル	内容
	最初の資金提供契約時は入力する必要はありません。(本項目は契約時には含みません)

以上